

新 人事制度

165

アクサ・ホールディングス・ジャパン(AHJ)は、従業員の幅広いライフステージをサポートする人事制度「We Care(ウィーケア)」を4月に導入した。出産や介護にとどまらず、家庭内暴力といった日本ではまだなじみが薄い分野まで先駆けて対象としているのが特徴だ。従業員が家族と共に安心して働ける環境を整え、ウェルビーイング(心身の幸福)や働きがいの向上につなげる。

「国内8500人のすべての従業員が関係する包括的な人事制度になった」。AHJ傘下のアクサ生命保険でウィーケアを推進する田中慎一コンセンサーシヨ

悩み解決、DVも対象に

アクサのWe Care (ウィーケア) プログラム	
領域	施策の概要
妊娠・出産・育児のケア	不妊治療、流産や死産、配偶者・パートナーの育児をケアする有給休暇
DV被害等のケア	外部機関による専門的な支援サービスと5日間の有給休暇
家族へのケア	家族の看護・通院の付き添いや介護をケアする年間5日間の有給休暇
自身の健康ケア	啓発イベントやワクチン接種、外部サポート機関導入等の各種取り組みに加え新たな外部機関と提携し、女性の健康課題、メンタルヘルスのサポート推進

アクサ・HD・ジャパン

ン&ベネフィットCOE部長は胸を張る。新人事制度は①妊娠・出産・育児②看護・介護③家庭内暴力・性暴力④従業員と家族の健康の四つを柱に、従業員の悩みごとに手を差し伸べる仕組み。通常の人事制度では、出産関連なら独身者はあまり関係のない制度になってしまいが、従業員の健康を含む幅広い領域を網羅したことで、独身者でも利用できる枠組みになった。

具体的な支援策は従業員の健康の場合、専門医らによるオンラインセミナーを得意とするクレードル(東京都渋谷区)と契約し、女性だけでなく男性の更年期障害の啓発活動に取り組む。出産関連では流産や死産を経験した従業員向けに産前・産後休暇以外に4週間取得可能な休暇制度を導入。また家庭内暴力では、被害に遭った従業員を外部の専門機関につなげて集中的に支援するほか、問題に対処するための特別有給休暇制度も導入した。内閣府によると、女性の約4人に1人が配偶者から暴力を受けた経験があり、「大きな社会問題になりつつある」(田中氏)と捉える。世界のアクサグループでは先行して支援制度を設けた国もあるため、日本でも導入を決めた。従業員の誰もが関われる支援制度にしたことで、「同僚が特別休暇を取得する際、お互いさまと協力し合える企業風土を醸成したい」(同)としている。